

# 府民の皆さまと力を合わせ 京都の夢を実現



京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の新型コロナウイルス第5波では、これまでに経験したことのない感染拡大を引き起こしました。この波を乗り越えられたのも、すべての府民の皆さま・事業者の皆さま、そして医療従事者をはじめ関係の皆さまのご協力の賜であり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

人類が対峙する新型コロナウイルスは、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済をも混乱に陥れました。われわれは感染予防対策を日常生活に取り入れ、ワクチン接種を進め、医療提供体制を整えるなど、この困難を乗り越えるため、力を合わせ立ち向かっています。

「あなたが一人で見る夢はただの夢だ。みんなで見る夢は現実になる

～A dream you dream alone is only a dream. A dream you dream together is reality～

これは、ヨーコ・オノとジョン・レノンが伝えるメッセージです。

われわれは困難を乗り越えた先に見える「夢」を現実のものとするため、力強く歩まなければなりません。夢の形は人それぞれですが、誰もが夢を抱き、夢に向かってチャレンジすることができる社会を築きたい。そのためには「府民と共に 京都夢実現プラン（京都府総合計画）」をさらに前進させる必要があります。

こうした中、これからの京都発展の原動力となる文化庁の京都移転、新名神高速道路の開通、大阪・関西万博の開催が続きます。時機を逸することなく、京都が持つ魅力の源泉である文化の価値をしっかりと国内外に発信することはもちろん、基盤整備を活かした産業戦略と一体となった雇用戦略の展開など、京都の夢を実現するため、着実に取り組んでまいります。

今年寅年です。「寅」は動くを意味し、芽の出たものが成長していく年です。明治以来初の中央省庁の移転となる、文化庁の京都移転という新しい幕開けに向け、この一年がよりいっそう弾みとなりますよう、皆さまと一緒に夢に向かって邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 令和3年度 京しごと技能検定 開催

令和3年11月17日(水) 10:45~15:30 京都府立伏見港公園 体育館



11月17日(水)「京しごと技能検定」が京都府立伏見港公園体育館にて開催され、京都府立特別支援学校9校から126名の生徒が参加しました。今回も公益事業委員会より14名の講師の方に協力いただきました。大会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策としてソーシャルディスタンス、検温の実施をもとに午前部・午後部と参加校を分けての開催となりました。

当検定は、府立特別支援学校の生徒達による日頃の職業訓練の成果の発表の場となります。生徒達の向上心を育てつつ就労につながるスキルの習得と、府民や企業からの理解と信用を得ることで雇用の促進を図ることを目的としています。回を追うごとに当協会の活動も認知され、徐々に社会に広まっていくことを実感でき、嬉しく思っております。

検定の内容は、「単一型」乾式モップ・自在ほうき・タオルのいずれかの1種を行うタイプと、「複合型」乾式モップ・自在ほうき・タオルを一連の流れで行うタイプとに分かれており、検定員の評価結果に基づき認定証が授与されます。



検定の注意事項等の説明がなされたあと、参加生徒達はそれぞれの検定を行うコートに移動し真剣に作業に取り組まれました。生徒達も、みな緊張している様子で、作業終了後に拍手がわくと、双方から笑みがこぼれておりました。

技能検定といった公の場で自分の努力に対する客観的な評価を得ることが、特別支援学校に通う生徒達の自信に繋がれば良いと思います。京都ビルメンテナンス協会は、今後も就労支援活動を続けることで社会貢献をしていきたいと思っています。

広報委員会 藤井 正人

